

# マチノワ ストーリー

TALK EVENT

2019. 1. 19 sat 15:00-17:00



自分ごとから発信し広がるネットワーク

2019年1月19日(土)

15:00-17:00 (14:30 open)

会場：仙台市市民活動サポートセンター

1階マチノワひろば

参加費無料 / 定員 20人 (先着順)

## お申込み方法

電話、メール、サポセン窓口にて、お申込みを受け付けております。

メールでお申込みの場合  
件名を「マチノワストーリー」とし、お名前、ご住所、お電話番号、メールアドレスをお知らせください。

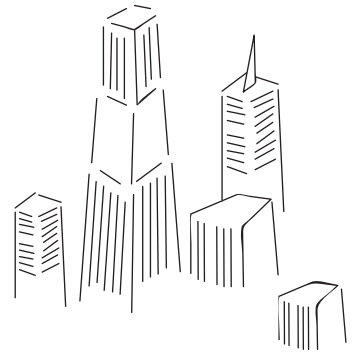
※いただいた個人情報はサポセンの事業以外では使用いたしません。

会社に、近所に、あなたのすぐ近くにいる「実践者」の話が聞けるトークイベント！

当センターのイベントや講座に参加した人たちの「その後」を伝える活動発表会です。

活動ってどうやったら始められるの？まちづくりと言うと大げさだけど何かしてみたい。そう考えている人はいませんか？それぞれに活動を始めた実践者の皆さんの体験談を聞いて、一歩踏み出してみませんか。

今回の**ゲスト**は、仕事を持ちながら、自分のライフスタイルに無理なく市民活動を取り入れ、楽しみながら情報発信する人、自分の趣味や興味のあることを活かし、まちづくりや交流の場を作ろうと活動している人たちです。



市民ライター  
**平塚 千絵** さん

私は会社員、主婦、そして市民ライターという顔を持っています。市民ライターデビューは、サポセンニュースレター「ぱれっと」でした。取材活動で知り合った市民活動者のイベントにも実際に参加してみて、自分の世界がどんどん広がっているところです。今の暮らしの中に、新しい活動を取り入れる「私なりのコツ」があるんですよ。

当日は、架空読書会も体験できます。



本楽カフェ 主宰  
**Tea** さん

企画してから数か月。サポセンのイベントや講座に参加してみたり、各地の実践例も参考にしたりしてついにアイデアを実現しました。それは、架空の本をでっち上げて、参加者それぞれに、思いのままに本の内容を語り合う「架空読書会」や、読んだことの無い本を想像で話し、紹介し合う「読んだふり読書会」です。本に興味が無い人にも参加してもらいたい……。なぜこのような企画をやろうと思ったのか、やってみてどうだったのか。これまでの試行錯誤も含めてお話ししたいと思います。

市民ライター  
**福地 裕明** さん



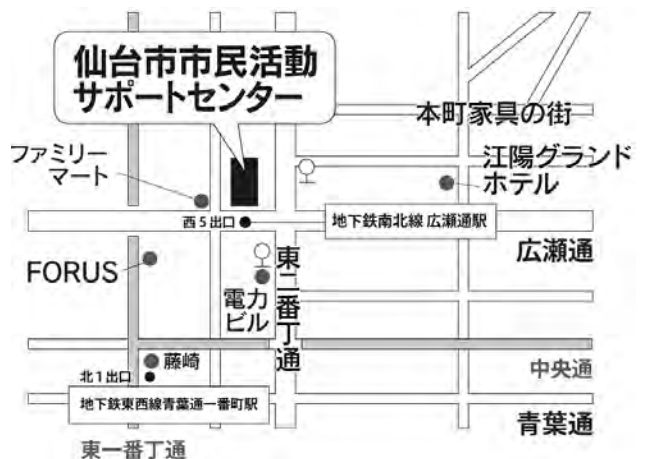
人生のおよそ半分を仙台で過ごす52歳のサラリーマンです。

泉区在住で現在は単身赴任中。

「寺岡おやじの会」や寺岡小 PTA 会長をきっかけに自分が暮らす地域と関わることに。仕事で培った広報スキルや趣味の写真を活かし、少しずつ市民目線での活動の幅を広げてきました。

会社人生も残りわずか。「濡れ落ち葉のような爺さんにはなりたくない！」とリタイア後の我が身を案じ 2018 年に「市民ライター講座」に参加。現在は、河北新報夕刊「週刊せんだい」やサポセンニュースレター「ぱれっと」などで取材活動を行っているところです。

## アクセス



## お問い合わせ

主催：仙台市市民活動サポートセンター  
指定管理者：NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センター

TEL：022-212-3010 FAX：022-268-4042

Mail：sendai@sapo-sen.jp

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目 1-3

HP：http://sapo-sen.jp/